

しらべたいことがわかるようなタイトルをつけよう。

しょうのうで動く船を作る実験

きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、きっかけになったことを書こう。

おばあちゃんが子どものころ、水に浮かべるだけで進む「しょうのう船」というおもちゃがあったらしい。防虫ざいにも使われていた「しょうのう」を使って動く船のようだ。本当に動くのか、作ってたしかめてみたいと思った。



実験のやり方

使ったものや、しらべるやり方を書こう。絵や写真も使うとわかりやすいぞ。



工作用シートを切って小さな船を作り、カッターでけずったしょうのうを、船のはし（青いしるしのところ）に両面テープでつける。水の入った洗面器に、しょうのうをつけたほうを下にして船を浮かべてみる。いろいろな形の船を作って、動き方のちがいをたしかめてみる。

しらべる前に、結果を予想して書く。予想した理由も書こう。

予想

しょうのうが水にとけて、あわが出て、そのいきおいで船が前に進むのではないかなと思う。舟形や長方形はまっすぐ進み、四角形や丸はまがって進むと思う。

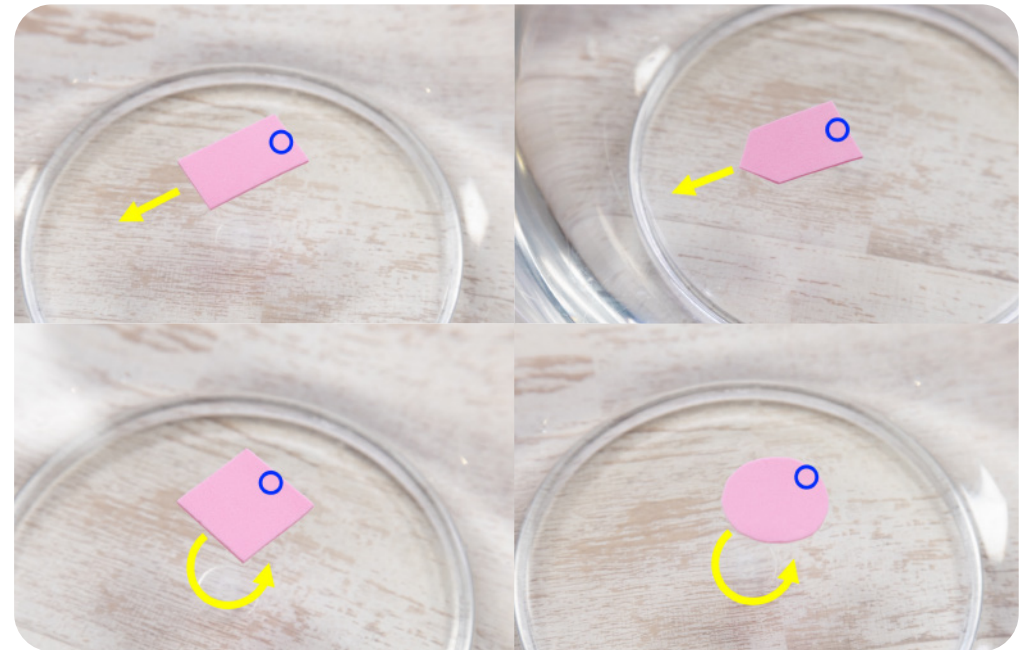
名前をわすれずに書こう。

年組名前 ()

結果

実験の結果だけを書く。表やグラフ、写真を使うとわかりやすいぞ。

水に浮かべると船はずかに進んだ。あわは出なかった。舟形と長方形はまっすぐ前に進み、四角形と丸は小さな円をえがくように動いた。舟形が一番速く進み、ほかは同じくらいの速さだった。



わかったこと

結果からわかったこと、考えたことを書く。予想とちがったときは、どうしてそうなったのか考えてみよう。

船はしばらくしたら動かなくなったけれど、水を入れかえたら船はまた動いた。船の形によって動き方はかわったけれど、どれもしょうのうをつけたほうと反対側へ進んだ。

結果とわかったことをまとめて、次にしらべてみたいことを書こう。

まとめ

しょうのうが水にふれたことをきっかけに船が動くようだ。モーターやプロペラがなくても船が動くことにおどろいた。もっと大きな船も動かせるか、ためしてみたい。